

# 羽根沢温泉周辺案内

与蔵沼→大芦沢登山口 約3.5キロ / 約1.5時間

## 与蔵峠周辺

与蔵沼

ブナ林

みはらし台

ブナ林

まぼろしの滝群



大滝  
白猿の滝  
夫婦滝  
湯沢の滝

大芦沢登山口

至 大芦沢

羽根沢登山口→与蔵沼 約4.5キロ / 約2.5時間

羽根沢登山口



つつじヶ丘

至 酒田市

砂利道

加登屋食堂



加登屋



紅葉館



松葉荘

スキー場跡地

見晴し台

ホタル発生地

羽根沢温泉共同浴場

鮭川村



— 車道  
- - - 歩道・登山道

庭月観音まで 約10分

小杉の大杉まで 約5分

至 新庄方面

与蔵沼の名のおこり  
昔、峠の麓で仲間と二人、炭焼きをしていたと蔵という者がいた。ある日の昼飯時、与蔵は岩魚を二尾とってきて焼いていたが、仲間が谷川に水を汲みに行っている間に、我慢できず二尾とも食べてしまっ。すると、ひどく喉が渇き、急いで谷に駆け下り、手で水をすくって何杯も飲んだ。しかし飲めば飲むほど喉が渇き、谷川に口をつけ、しまいにほき止めて水を飲み続けた。  
仲間がもどきとみると与蔵の姿は無い。谷の方を下ってみると、そこには今まで無かった大きな沼ができていた。仲間が大きな岩で「与蔵やあ」と叫ぶと沼の奥に大きな波が立ち、「うい」と返事をしながら大きな蛇が鎌を持ち上げた。仲間の分まで岩魚を食べたと蔵は大蛇となり、大沼を作って入り水を飲んでいたのだ。それからこの峠を与蔵峠、沼を与蔵沼と呼ぶ様になった。  
安産好重著「山形県の地名伝説」

## 羽根沢温泉日帰り入浴情報

■共同浴場入浴料 200円 ■旅館入浴料一律 300円

松葉荘

0233-55-2539

旅館 加登屋

0233-55-2525

ホテル 紅葉館

0233-55-2081

## 周辺観光施設

与蔵の森：まぼろしの滝群やブナの美林が広がる。羽根沢登山口までは、車で約30分。

小杉の大杉：推定樹齢1000年の杉の大木。

庭月観音：最上三十三観音打ち止めの寺。毎年8月18日には仏式東日本随一の「庭月の灯ろう流し」を開催。

## 羽根沢温泉

大正8年、石油を求める目的で試掘を開始し、大正10年に多量の温泉が湧き出す。ぬめりをもつ独特の湯で、肌がツルツルになることから美人湯と呼ばれている。

## 羽根沢温泉 温泉成分表

【成分】

含食塩重曹泉一緩和低張性高温泉  
(無色清澄、弱アルカリ性) 泉温 47度

【飲用効能】

慢性胃腸カタル・胃酸過多症・糖尿痛・  
通風・尿酸素質・肥満症・肝臓結石・  
膀胱結石・熱射病

【浴用効能】

胃腸病・体位向上健康増進・疲労回復・  
創傷・火傷・慢性皮膚疾患・婦人病・  
神経痛・リュウマチ・ヒステリー